

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	2026/●/●
	(第1回)
目標年度	令和18年度
市町村名 (市町村コード)	小美玉市 (08236)
地域名 (地域内農業集落名)	田余地区 (高崎、上玉里、田木谷、栗又四ヶ、東田中)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	448.0 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	264.8 ha
② 田の面積	198.0 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	250.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	1.5 ha
(参考) 区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

後継者のいない地域における農地の集積・集約化と受け手の確保が課題である。 また、耕作放棄地が増加している。
--

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

レンコンや水稻を主要品目としつつ、効率が上がる圃場整備することで、若い人が取組みたくなる魅力ある農業を進める。 6次産業化等により付加価値向上を図ることで農畜産物のブランド化を進め、高収益な農業を実現する。また、6次産業化の相談体制を整備する。 スマート農業などの先端技術導入を支援し、作業効率化や経営の合理化を進めることで、ワークライフバランスを充実させる。
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手への集積・集約化を基本としつつ、新たな担い手の掘り起こしを図る。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	9.3	%	将来の目標とする集積率
			66 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
現状の集積率は9.3%であるため、未整備の農地の活用を進めるとともに、経営体の実情にあわせ農地中間管理機構を活用しながら集約化を図る。(令和16年度)			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
同じ作物ごとに集約化や遊休農地の解消支援、畦畔除去の事業化を図り、担い手が使いやすくする。
(2)農地中間管理機構の活用方法
中間管理機構を活用し未利用地の見える化やHP上に公開し周知を図り、利用を促進することで、集積・集約化を進める。
(3)基盤整備事業への取組
区画やパイプラインなどを整備して、耕作の作業効率を上げる。 曜日を決めてパイプラインを開けることや、谷津田をため池にするなど、水が必要な耕作者に行き届くよう対策する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
新規就農希望者等のワンストップ相談窓口を設置し、各種支援機関との連携を強化することで、大規模な経営者だけでなく、多様な農業従事者を支援する。 また、法人化も視野に入れた利益を出せる農業を進める。さらには、受託組織を開拓するための支援を図る。 お試し農業体験をすることで、農業ボランティアや、短期の人材を確保できる仕組みを活用する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
法人化による合理的運営と補助を図る。また、機械、施設の利用バンク等共同利用を進める。 委託作業のメニューを広げ、通年で人材を確保できる仕組みをつくる。 また、耕作放棄地に対する支援を構築する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①電気柵等を設置し被害防止を図るとともに、捕獲隊等と連携し駆除を進める。
③先進技術の導入を支援し、スマート農業を進めることで、時代にあった技術でワークライフバランスを改善する。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度: 令和 18 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
		別紙のとおり				ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	26経営体		40 ha	0 ha		41.5 ha	0 ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

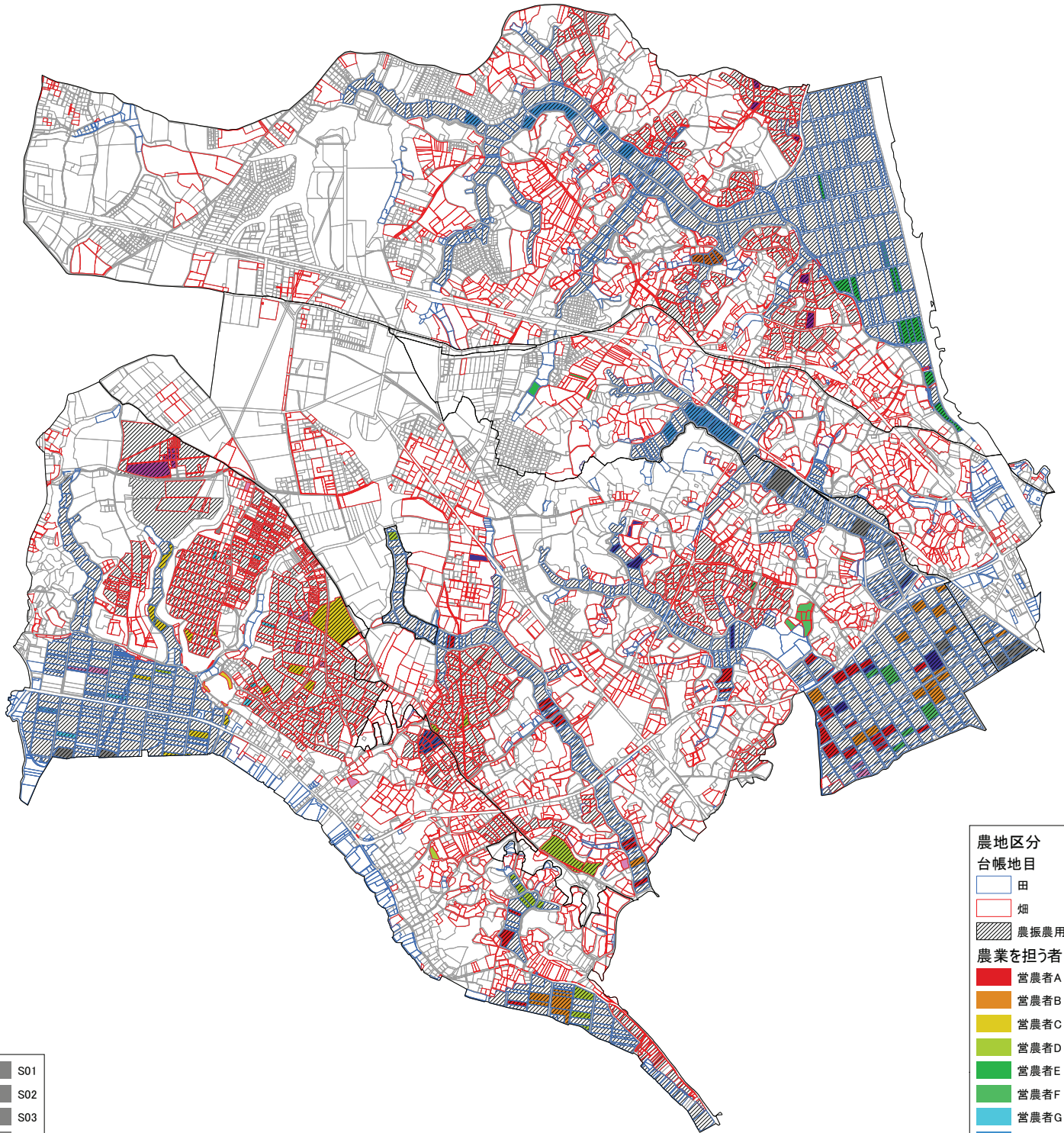
また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 18 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農	A	水稻+果樹	4.7 ha	ha	水稻+果樹	4.7 ha	ha	A	
2	認農	B	野菜	4.2 ha	ha	野菜	5.7 ha	ha	B	
3	認農	C	水稻+野菜	4.0 ha	ha	水稻+野菜	4.0 ha	ha	C	
4	利用者	D	果樹	3.0 ha	ha	果樹	3.0 ha	ha	D	
5	利用者	E	水稻+野菜	2.8 ha	ha	水稻+野菜	2.8 ha	ha	E	
6	認農	F	水稻+果樹	2.0 ha	ha	水稻+果樹	2.0 ha	ha	F	
7	認農	G	野菜	0.8 ha	ha	野菜	0.8 ha	ha	G	
8	認農	H	水稻	3.1 ha	ha	水稻	3.1 ha	ha	H	
9	認農	I	野菜	0.7 ha	ha	野菜	0.7 ha	ha	I	
10	認農	J	水稻+野菜	1.6 ha	ha	水稻+野菜	1.6 ha	ha	J	
11	利用者	K	野菜	6.0 ha	ha	野菜	6.0 ha	ha	K	
12	認農	L	酪農+肉用牛	1.3 ha	ha	酪農+肉用牛	1.3 ha	ha	L	
13	認農	M	野菜	0.9 ha	ha	野菜	0.9 ha	ha	M	
14	認農	N	野菜	0.5 ha	ha	野菜	0.5 ha	ha	N	
15	認就	O	野菜	0.6 ha	ha	野菜	0.6 ha	ha	O	
16	利用者	S01	野菜	0.6 ha	ha	野菜	0.6 ha	ha	S01	
17	認農	S02	野菜	1.1 ha	ha	野菜	1.1 ha	ha	S02	
18	認農	S03	野菜	0.4 ha	ha	野菜	0.4 ha	ha	S03	
19	認農	S04	野菜	0.3 ha	ha	野菜	0.3 ha	ha	S04	
20	認農	S05	飼料作物	0.1 ha	ha	飼料作物	0.1 ha	ha	S05	
21	認農	S06	野菜	0.1 ha	ha	野菜	0.1 ha	ha	S06	
22	利用者	S07	水稻	0.2 ha	ha	水稻	0.2 ha	ha	S07	
23	認農	S08	野菜	0.1 ha	ha	野菜	0.1 ha	ha	S08	
24	認農	S09	野菜	0.2 ha	ha	野菜	0.2 ha	ha	S09	
25	認農	S10	野菜	0.2 ha	ha	野菜	0.2 ha	ha	S10	
26	認農	S11	野菜	0.5 ha	ha	野菜	0.5 ha	ha	S11	
27				ha	ha		ha	ha		
28				ha	ha		ha	ha		
29				ha	ha		ha	ha		
30				ha	ha		ha	ha		
31				ha	ha		ha	ha		
32				ha	ha		ha	ha		
33				ha	ha		ha	ha		
34				ha	ha		ha	ha		
35				ha	ha		ha	ha		
36				ha	ha		ha	ha		
37				ha	ha		ha	ha		
38				ha	ha		ha	ha		
39				ha	ha		ha	ha		
40				ha	ha		ha	ha		
41				ha	ha		ha	ha		
42				ha	ha		ha	ha		
43				ha	ha		ha	ha		
44				ha	ha		ha	ha		
45				ha	ha		ha	ha		
46				ha	ha		ha	ha		
47				ha	ha		ha	ha		
48				ha	ha		ha	ha		
49				ha	ha		ha	ha		
50				ha	ha		ha	ha		
51				ha	ha		ha	ha		
52				ha	ha		ha	ha		
53				ha	ha		ha	ha		
54				ha	ha		ha	ha		
55				ha	ha		ha	ha		
56				ha	ha		ha	ha		
57				ha	ha		ha	ha		
58				ha	ha		ha	ha		
59				ha	ha		ha	ha		
60				ha	ha		ha	ha		
61				ha	ha		ha	ha		
62				ha	ha		ha	ha		
63				ha	ha		ha	ha		
64				ha	ha		ha	ha		

田余地区



- S01
- S02
- S03
- S04
- S05
- S06
- S07
- S08
- S09
- S10
- S11

- 農地区分
台帳地目
- 田
 - 畑
 - 農振農用地
- 農業を担う者
- 営農者A
 - 営農者B
 - 営農者C
 - 営農者D
 - 営農者E
 - 営農者F
 - 営農者G
 - 営農者H
 - 営農者I
 - 営農者J
 - 営農者K
 - 営農者L
 - 営農者M
 - 営農者N
 - 営農者O

1:8,000

0 162.5325 650 975 1,300 1,625 m